



地域おこし協力隊

地域を
変える
チカラに

肝付町に
貢献したい

緑のふるさと協力隊



新規着任者に聞く 肝付町の魅力

近藤 千恵子さん

4月から新たに地域おこし協力隊になりました近藤千恵子です。

私は長野県出身で、小さい頃は都会への憧れが強く上京し就職しましたが、年月が経つにつれ自然の中で生活することの価値が分かるようになり、機会があれば地方創生の活動をしたいと思いはじめました。この町は山と海に囲まれた壮大な自然と、その自然がはぐくむ産物の宝庫と感じています。最先端を求めて変わりゆく時代の中で、ここにある『あたり前の自然』が、私にはとても新鮮で魅力的です。一方では『宇宙(そら)にいちばん近いまち』としての夢と希望もあります。

地元の方々が大切にしてきた自然と文化を守りながら、この町の未来の創造に貢献できるように頑張ります。

納見 直さん

この度、緑のふるさと協力隊として川上地区に着任しました納見直と申します。東京都葛飾区から参りました。

東京で働いて、イライラした空間にいると本当に疲れ果て、無意識のうちに自然のある場所に旅に出たりするようになりました。

都会とは違った自然いっぱいところで暮らしてみたいと思ったのが正直な動機です。そして、この地域の暮らし方や働き方を勉強し、今までやってこなかったことをたくさん経験し、自分なりの生き方を見つけ出せたらと思っています。

更におもいきり楽しみながら地域の方々の役に立てるよう活動していきたいです。

一年間という短い期間ですがどうぞよろしく願います。

～ 地域おこし協力隊と緑のふるさと協力隊の違いは？ ～

● 共通点：農山漁村地域において、地域活性化につながる活動を行います。

● 地域おこし協力隊…

人口減少や高齢化等の進行する地方が地域外の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を目的とした制度です。

● 緑のふるさと協力隊…

NPO 法人地球緑化センターが主催する活動です。地方自治体を受け入れ窓口として、隊員は1年間の地域貢献活動をし、地域住民と経験を共有します。